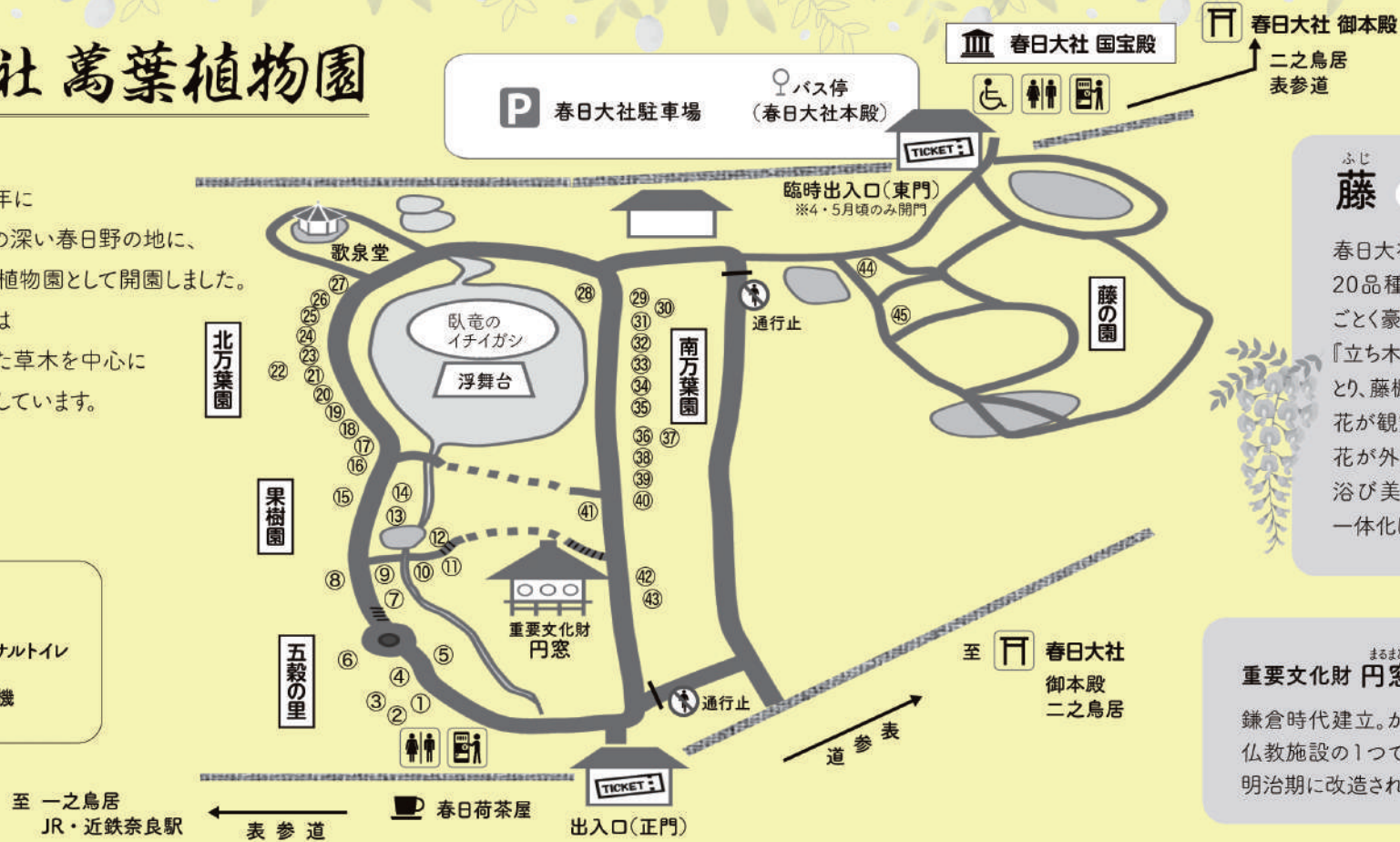


春日大社 萬葉植物園

当園は、昭和7年に
万葉集にゆかりの深い春日野の地に、
日本最古の萬葉植物園として開園しました。
約3haの園内には
万葉集に詠まれた草木を中心に
約300種を植栽しています。

- トイレ
- ユニバーサルトイレ
- 飲料自販機



ふじ 藤

4月中旬～5月初旬

春日大社の社紋でもある藤の花が20品種、約200本、毎年藤波のごとく豪華に咲きそろういます。『立ち木造』というこだわりの形式をとり、藤棚のように見上げずに目線で花が観賞できます。花が外向きに咲くことで常に光を浴び美しく見える、まさに自然と一体化した風光優美な藤の園です。

重要文化財 円窓(旧春日大社板倉)

鎌倉時代建立。かつての神仏習合の歴史を表す仏教施設の1つで、経典を収蔵する経蔵でした。明治期に改造された丸い窓が特徴的な建物です。

今月のおすすめ植物を お探しください	万葉名	現代植物名
4月	③ やまぶき	ヤマブキ
	④ つつじ	モチツツジ
	④④ ふぢ	ノタフジ
5月	⑦ たまかづら	スイカズラ
	⑨ あやめぐさ	シヨウブ
	②③ かきつばた	カキツバタ
	③⑦ うのはな	ウツギ
6月	⑦ あぢさゐ	アジサイ
	③④ ひめゆり	ヒメユリ
	④② むらさき	ムラサキ
7月	④ はちす	ハス
	⑨ からあゐ	ケイトウ
	⑩ わすれぐさ	ヤブカンゾウ
	③⑤ あさがほ	キキョウ
	③⑥ ゆり	ヤマユリ
8月	⑭ なでしこ	カララナデシコ
	②④ なぎ	コナギ
	②④ うも	サトイモ
	②⑦ おもひぐさ	ナンバンギセル
9月	① をみなへし	オミナエシ
	⑥ あは	アワ ※4・9月展示
	②⑥ ふぢばかま	フジバカマ
	③① いちし	ヒガンバナ
	④① はぎ	ヤマハギ
10月	⑤ いね	イネ ※6・10月展示
	⑫ すすき	ススキ
	⑮ ぬばたま	ヒオウギ
11月	⑩ たちばな	タチバナ
	⑬ まゆみ	マユミ
	⑲ かへるで	イロハカエデ
	③③ ひかげ	ヒカゲノカズラ
	③⑨ さかき	サカキ
	④④ さなかつら	サネカズラ
12月	⑱ あし	アシ
	⑲⑤ あふひ	フユアオイ
1月	⑪ まつ	マツ
	⑲② ひ	ヒノキ
	⑲⑨ ささき	クマザサ
2月	⑧ うめ	ウメ
	⑲① せり	セリ
	③⑩ つばき	ヤブツバキ
3月	② さくら	ヤマザクラ
	③② あしび	アセビ
	④⑤ かたかご	カタクリ
	モモ	モモ

※開花時期ではなく、歌の詠まれた時期で「案内」している場合があります。



おすすめ45種類の万葉植物・歌 解説板の見方



万葉集には約180種類の万葉名で詠まれた植物（万葉植物）が登場します。
 現代の植物名とは異なるものも多く、多数の植物説があるものを含むため、
 約300種類が万葉植物とされています。
 当園では、植物ごとに代表的な万葉歌の陶板と植物解説板を掲示しており、
 その中でも当園おすすめの植物を月ごとに数種類ずつ計45種選びました。

おすすめ植物には、歌の解説などを加えたより詳しい解説板も設置しています。
 植物の詠みこまれた歌とともに実際の植物をご鑑賞いただくことで、万葉びとの
 植物に対する思いや生活の中での関わりをうかがい知り、万葉集の世界をより
 身近に感じていただければ幸いです。



設置場所番号と万葉植物名(ひらがな表記)

歌のタイトル

万葉歌

歌の意訳

作者・歌の背景等の解説

※歌の解釈は諸説あります
 ここで表記はあくまで当園として選んだものです

植物の万葉名(ひらがな表記)と
 この植物が詠まれた万葉歌の数

万葉植物解説(万葉学者上野誠氏)

※各植物が万葉びとにとってどんな存在だったのかを解説

現代の植物名/科名

※万葉植物には現代の植物の特定が難しく、複数の植物説をもつ
 ものがあります。解説板にはその中の1説を選び、表記しています
 ※科名の分類は、陶板は新エングレー体系、解説板はAPG体系
 に基づき表記しているため異なっています

44 ふぢ 《春の花を想う歌》

かすかの

春日野の ふぢは散りにて 何をかも

みかり かざ
 御狩の人の 折りて挿頭さむ

不詳 巻10-1974

《意訳》

春日野に咲いていた藤の花はもう散ってしまった…、
 狩する人びとは何の花を手折って髪に挿すのだろうか。

※ 御狩は5月5日に行われた葉の材料となる鹿の袋角を採る狩り、
 葉狩(くすりがり)のこと。女性は薬草を摘んだ。

《歌によせて》

春日野は平城京の郊外にあり、万葉びとには、狩りや打毬(だきゅう/現代の
 ボロのような球技)など野遊びをする場所でもありました。

また、季節の移り変わりを感じさせ、この歌では早々と散ってしまった美しい
 藤の花を惜しむとともに、次の花の季節が到来することを期待しています。

萬葉名 ふぢ 27首

ふぢ(藤)は、美しい花で万葉びとの心を捉えていました。したがって、宴会を
 するときにふぢの花を髪にさすということもありました。

また、ふぢの繊維を使って藤衣(ふぢころも)を作ることもありました。藤衣は、
 万葉集では海女の作業着などに使われていたようです。

現代名 フジ (マメ科)

学名 Wisteria floribunda (ノダフジ)

花期 4~5月

日本原産。生命力が強く、寿命が長い、つる性落葉木本。
 フジには2種あります。本州~九州の山野に自生し、花房が長いノダフジと
 近畿地方~九州の山林に自生し、花房が短いヤマフジです。



現代植物の花や実などの様子

歌の作者・巻数-歌番号

万葉時代の活用用途ピクトグラム



食用



鑑賞



薬用



日用・工芸品など



衣料・繊維



楽器



建築・土木用材



香料



染色



祭事・仏事

学名

花期/実期/紅葉期

現代植物の植生など

